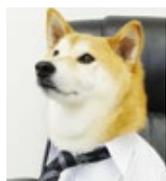


月刊オッキータイムス

Monthly Okkiy Times
2022年8月号《第141号》



ずっと住みたくなる家のリフォームなら(株)おきた

Okita Reform

長門店

おきたリフォーム

萩店

【長門店】長門市東深川 826-1
【萩店】萩市江向 428-5
《営業時間》9時～17時
《定休日》日曜祝日、2・4土曜

おきたリフォーム 検索

通話料無料



0120-710-091

※携帯電話からは
0837-23-0123



スマホ
サイト

おきたの愉快的仲間たち

沖田社長やその家族と愛猫7匹のほほえましい!?
日常を描いた4コマ漫画です。

(作) 沖田 安男 (画) 文月 チコ



残暑お見舞い申し上げます。熱中症にはくれぐれもご注意を!!

立秋が過ぎ、暦の上では秋とはいえ、まだまだ暑い日が続いていますね(汗) おきたの猫たちも毎日涼しい場所を探すのに必死です。しかし、そこにみんな集まってくるので結局暑くなりますが(笑)

新型コロナもなかなか終息しないので、お盆は家族でおうちでゆっくり...という方も少なくないはず。もしも家族会議でリフォームをしよう!と なりましたら、まずはおきたにお気軽にご相談ください。

今月の“癒やしの一枚”
見ていて癒やされるラッキーの寝顔。皆さんもぜひ癒やされてください♪



珍答!クイズコーナー No.3

オッキー★トリビア

ネコたちやスタッフに関するクイズを出題!ぜひお考えください♪

※答えは表面の一番下です。



【問題】ラッキーはあるものを吸わないと寝れません。それは何?

- ①毛布
- ②先輩ネコのオッパイ
- ③人の耳たぶ

おきた社員の 一問一答

毎回、2つの質問に答えてもらうコーナー。お客様に何故かご好評みたいです(笑)

テーマA 「子どもの頃のお盆休みの思い出といえば？」

テーマB 「あなたはオバケを信じる派?信じない派？」



むらなか
カラオケが好き。

A. 従兄弟が帰省したとき、9人で毎年、写真を撮ってました。並んで撮ると階段みたい(笑)
B. 信じない派



まつなが
洗車が好き。

A. お供えものの落雁(らくがん)がとてもキレイで記憶に残っています。
B. 信じない派



すえどみ
野球観戦が好き。

A. 高校生の時、親戚に集まると決まって酒を勧められるのが辛かった。
B. 信じる派



もとなが
焼飯作りが好き。

A. 親戚が集まった時、イタズラをしていつも叱られて泣いている従兄弟がいた。
B. 信じない派



しのはら
魚釣りが好き。

A. お年玉ならぬお盆玉が貰えたので毎年楽しみでした。
B. 信じる派



よこや
ゴルフが好き。

A. 下関から再従兄弟(はとこ)が来て遊ぶのが楽しみでした。
B. 信じない派



はらだ
旅行が好き。

A. 母の実家の萩に行くのが楽しみでした。かき氷が美味しかったです。
B. 信じない派



すずうら
ライブ・映画が好き。

A. 祖母の家に親戚が集まって、みんなで花火をしたこと。
B. 信じる派



おきた
お祭りが好き。

A. 盆になると親戚のおばさんのユナ(海藻)とゴベイ(貝)の味噌汁が食べたくります。
B. 信じないようにしている派(怖いので)



もし高級ホテルだったら
ゾツとしましたよ(笑)

オッキーこと 沖田社長の 社長歳時記

(株)おきた 代表取締役社長 沖田 安男
水道工事会社の創業者である父から事業を引き継ぎ、家の総合リフォーム会社へと成長させ 2018年10月に本社を油谷から長門市中心部へ、萩店も2021年4月に市役所隣に移転。孫と猫をこよなく愛する。

「小さな勘違い続きの一日」

高速道路を走っているとトンネル手前で電光掲示板に「漏水あり」と表示している道路パトロールが停車していました。

こんな所で水道管が破裂?と地面を気にしながらトンネルに進入。すると突然、上から大量の水がフロントガラスに降ってきました。漏水は水道ではなく天井からの雨漏りだったという朝一番の勘違いでした。

そして同日ビジネスホテルに宿泊した私は深夜眠い目をこすりながらトイレへ。そこは長く薄暗い部屋で肝心の便器は見当たりません。そんな広い空間に戸惑いながらもエレベーターを見つけた時、今、私はトイレではなく部屋の外の廊下にいるのだと気付いたのです。

そして数秒後、呆然と立ちすくむ私の後ろで玄関ドアが閉まり、カチャツという自動ロックの音が聞こえました。

急いでフロントに行きたいのですが、暑い夜だったのでシャツとパンツだけしか身に着けていない私は暫く動けませんでした。

しかし何とか気を取り直しエレベーターに乗り込み、鏡の中の自分の姿に再度、挫けそうになりながらも、あとは神頼しかないとフロントに女性がいない様に祈りながら1階のボタンを押しました。

そんな必死の願いが通じたのか誰にも会う事もなく、フロントも男性職員で、目は笑っている様でしたが特に私の超ラフな服装には触れず、部屋の鍵を開けてくれました。いい人で良かった～。

皆さんも小さな勘違いの日ありますよね。えっ、小さくないって。